

教科	農業	科目	草花	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅰ	教科書	なし		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、草花の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展につながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	草花園芸の特徴 草花生産と消費の動向 草花の生育と環境
2 学期	草花の生育と環境 鉢もの生産の特色
3 学期	花壇用草花生産の特色 花壇用草花の栽培 草花経営の改善（GAP等）

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○		
小テスト	○	○	
発表・話し合い		○	
課題提出	○	○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	食品流通	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅰ	教科書	食品流通（実教出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品流通とマーケティングに必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
食品流通について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	食品流通に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	食品流通の合理的な管理とマーケティングが経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品流通とプロジェクト学習</li> <li>・現代社会と食品流通</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済活動と食料</li> <li>・食品流通の仕組みと働き・主な食品の流通</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の品質と規格</li> <li>・食品の物流</li> </ul>

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
観察・実験			
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
実験レポート			○
課題提出		○	○
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	地域資源活用	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅰ	教科書	地域資源活用		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域資源の活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	地域資源の活用に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	「地域資源活用」とプロジェクト学習 農山村と都市の現状と変化 地域活性化に向けた施策・取り組み
2 学期	地域資源活用の意義と役割 地域資源の価値と活用 地域資源のマーケティングとブランドづくり
3 学期	地域資源を活用したサービス 農業のユニバーサルデザイン化 地域資源活用の実践

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
課題提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	地歴公民	科目	地域の風土と文化	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅰ	教科書	なし		
使用副教材		なし					

### 1 科目の目標

地域の自然条件や歴史との関連に留意して、地域の文化を理解するとともに、課題を見出し、地域社会の発展や地域文化の創造に努力・貢献した先人たちの歩みを学び、地域社会に生きる一員としての自覚と態度を養う。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
地域の歴史や文化についての基本的な事柄を理解するとともに、諸資料から地域の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地域の歴史や文化について課題を見出し、地域性を踏まえて多面的・多角的に考察したり、地域社会の課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり表現したりする力を養う。	地域の歴史や文化についての課題を主体的に探究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、地域に対する愛情や地域社会の担い手としての自覚を深める。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	中讃地区の歴史・民俗・考古遺跡などを学ぶ
2 学期	高松地区・西讃地域の歴史・民俗・考古遺跡などを学ぶ
3 学期	瀬戸内海の島々の歴史・民俗・考古遺跡などを学ぶ

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い		○	
課題・レポート提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	数学	科目	基礎数学	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅰ	教科書	なし		
使用副教材		進路マップ マナトレ 数学 標準編 (ベネッセコーポレーション)					

### 1 科目の目標

基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
基本的な記号・用語・定理などを理解し、それらを使って推論が論理的に展開できる。事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返ったりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けようとしている。	社会生活において数学が果たしている役割に興味・関心を示し、事象を数学的に考察しようとしている。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	10級～7級まとめ 6級 比、割合、単位
2 学期	5級 量と測定
3 学期	4級 さまざまな数 (正負の数、平方根)

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
課題提出	○	○	
その他提出物	○	○	○
発表・話し合い		○	○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅰ	教科書	地学基礎 新訂版（実教出版）		
使用副教材		なし					

### 1 科目の目標

地球や地球を取り巻く環境に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、地球や地球を取り巻く環境を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
日常生活や社会との関連を図りながら、地球や地球を取り巻く環境について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	1章 地球の構成と運動 2章 大気と海洋
2 学期	3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 4章 古生物の変遷と地球環境の変化
3 学期	5章 地球の環境

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
観察・実験	○		
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
実験レポート		○	○
課題提出		○	○
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	食料と農業	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅰ（進学）	教科書	なし		
使用副教材		最新 日本の農業図鑑（ナツメ社）			主な授業形態		座学・実習

### 1 科目の目標

我が国の食料問題や、農業と環境保全問題の関わりについて正しく理解させるとともに、農業経営者として必要な能力と意欲的な態度を育てる。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
食料と農業に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、農業の意識や役割を理解する。	食料と農業について思考を深め、農業に携わる者として適切に判断し、表現する能力を身につける。	食料と農業について関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につける。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本農業の最前線</li> <li>・日本農業の基本を知ろう</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物の基礎知識</li> <li>・畜産の基礎知識</li> <li>・持続可能か農業</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業を始めよう</li> <li>・日本と世界の食の今</li> </ul>

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
観察・実験			
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
実験レポート			○
課題提出		○	○
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	野菜	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅱ	教科書	野菜（実教出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、野菜の生産と経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
野菜の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	野菜の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	野菜の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながらよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	第1章 ・野菜生産の役割と動向 ・香川県における野菜栽培の現状 ・夏野菜（ナス・キュウリ・メロン・スイカ・カボチャ等）の概要について
2 学期	第2章 野菜の生育特性と栽培環境の調節技術 ・秋野菜（キャベツ、ハクサイ、ダイコン、タマネギ）の概要について
3 学期	第3章 野菜の品種改良と繁殖 ・ジャガイモについて ・生産と流通の改善 第7章 野菜の流通と経営改善

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
発表・話し合い		○	
課題提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	畜産	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅱ	教科書	畜産（実教出版）		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、家畜の飼育と畜産経営に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
家畜の飼育と畜産経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	家畜の飼育と畜産経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	家畜の飼育と畜産経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	家畜化・アニマルウェルフェアについて 豚の特性と本校の養豚経営について エゾシカの家畜化について
2 学期	鶏の特性と本校の養鶏経営について
3 学期	牛の特性と本校の養牛経営について

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト			
発表・話し合い		○	
課題提出			○
その他提出物			○
発言・行動観察		○	○
自己・相互評価			○
備考			

教科	農業	科目	植物バイオテクノロジー	単位数	2単位	学習形態	クラス単位
学年	3学年	学級	総合選択Ⅱ	教科書	植物バイオテクノロジー(実教出版)		
使用副教材		なし			主な授業形態		座学・実習

### 1 科目の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、植物に関するバイオテクノロジーを農業の各分野で活用するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
植物バイオテクノロジーについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	植物バイオテクノロジーに関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	植物バイオテクノロジーについて特質を理解し、農業の各分野で活用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	植物バイオテクノロジーの意義と役割 バイオテクノロジーの基礎
2 学期	植物組織培養の基礎 植物組織培養の実際
3 学期	細胞融合と遺伝子組換え 植物バイオテクノロジーの成果と展望

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○		
発表・話し合い		○	○
課題提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	家庭	科目	生活と福祉	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅱ	教科書	なし		
使用副教材		準教科書 生活と福祉（実教出版）			主な授業形態		座学・実習

### 1 科目の目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技術	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
高齢者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	高齢者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の自立生活支援と福祉の充実を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	健康と生活	[通年] 介護・看護の実習と生活支援 社会人講師による介護実習
2 学期	少子高齢化の現状と高齢者の特徴 高齢者の自立生活支援	
3 学期	高齢者支援の法律と制度	

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技術	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
実習・実験	○		○
発表・話し合い		○	○
課題提出	○	○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	外国語	科目	応用英語	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅱ	教科書	なし		
使用副教材		高校英語へのブリッジ&チャレンジ Basic (駿台文庫)					

### 1 外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して、適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○英語で自己紹介をしよう (be動詞、一般動詞、助動詞)</li> <li>○余暇について話そう</li> <li>○体調について話そう (進行形、受動態、完了形)</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事について話そう</li> <li>○天気や天候について話そう (不定詞、分詞、動名詞)</li> <li>○道案内をしよう</li> <li>○買い物をしよう (疑問詞、付加疑問文・間接疑問文、名詞・代名詞・冠詞)</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>○レストランで食事をしよう</li> <li>○友達と遊ぶ約束をしよう</li> <li>○将来の夢について話そう (形容詞・副詞、比較、関係代名詞)</li> </ul>

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
やり取り・発表	○	○	○
書くこと	○	○	○
課題提出			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	地歴公民	科目	政治・経済	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅱ	教科書	最新政治・経済（実教出版）		
使用副教材		なし					

### 1 科目の目標

社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	第1部現代日本の政治・経済 第1編現代日本の政治 第2編現代日本の経済
2 学期	第1部現代日本の政治・経済 第2編現代日本の経済 第3編現代日本における諸課題の探求 第2部現代の国際政治・経済 第1編現代の国際政治
3 学期	第2部現代の国際政治・経済 第2編現代の国際経済 第3編国際社会における諸課題の探求

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い		○	
課題・レポート提出		○	
その他提出物			○
発言・行動観察			○
自己・相互評価			○
備考			

教科	国語	科目	国語読解	単位数	2単位	学習形態	選択
学年	3学年	学級	総合選択Ⅱ（進学）	教科書	なし		
使用副教材		なし					

### 1 科目の目標

文章を読み込むことで、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。また、社会生活における他者との関わりのなかで伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。言葉の持つ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、その能力の向上を図る態度を養う。

(1)知識及び技能	(2)思考力、判断力、表現力等	(3)学びに向かう力、人間性等
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

### 2 学習内容・年間計画

1 学期	1 文章読解の基礎 2 文章表現の基礎
2 学期	3 コミュニケーションのために 4 話し合いの方法
3 学期	5 社会に働きかける表現

### 3 観点別学習状況の評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査	○	○	
小テスト	○	○	
発表・話し合い	○	○	
課題レポート	○	○	○
その他提出物			○
自己・相互評価			○
備考			